

# 水俣、天草でも始まる

## 潜在水俣病 第一次アンケート調査

不知火海沿岸の潜在水俣病患者を捜す熊本県の住民一斉健康調査（一次のアンケート調査）は五日の芦北郡芦北町、田浦町につづいて、六日から水俣市、芦北郡津奈木町、天草郡御所浦町、竜ヶ岳町でも始まった。

まず水俣市ではこの日、茂道地区で保健婦による聞き取り調査が始まった。同市ではさきに熊大が湯釜、出月、月浦の多発地帯で住

民検診をしているので、これらの地区を除いて行なわれる。茂道地区ではことし五月、地元医師会などが水俣病発見そのものが目的ではなかったが健康調査をしており、それでも一部四肢（し）のしびれを訴えた人たちがや神経系の症状を持つ人たちがいた。水俣病の聞き取り調査は百十一世帯五百四十三人。

またこの日芦北郡津奈木町でも

聞き取り調査を開始した。同町の対象者は百九世帯五百六十三人。

一方、天草でも竜ヶ岳、御所浦両町で保健婦や看護学院生徒を動員したアンケート調査が始まった。

対象となるのは竜ヶ岳町の全住民千七百七十三世帯、七千三百七十九人と、嵐口地区を除く御所浦町の全住民千五百十九世帯、六千五百四十九人。嵐口地区は八月下

旬、熊大が住民検診をしているので、今回は除かれた。

対象住民のうち漁業專業家庭（両町合わせて六百六十七世帯、二千七百五十二人）については本渡保健所から保健婦を動員して、アンケートの回収に当たるほか、竜ヶ岳町立上天草病院（岡崎禮治病院長）では、同病院付属高等看護学院の生徒六十人の公衆衛生学の実習を兼ねて、戸別訪問による聞き取り調査に当たらせる。一〇〇〇回収を目ざし、ほぼ一週間で終わる予定。